



グリーン株式会社



グリーンは街と暮らしを彩る エクステリアで社会に貢献する会社

代表取締役社長 隅田 洋 氏

1964(昭和39)年大阪府八尾市生まれ。大学で法律を学んだあと銀行に就職。業務にいそむが、2年後創業者である父の跡を継ぐためグリーン株式会社に入社。各現場で経験を積み2011(平成23)年より代表取締役となる。「正直、率直、素直」の3つの「直」を大切に、人材育成に力を入れている。

| | |
|------|---|
| 所在地 | 大阪府八尾市八尾木1-221 |
| 設立 | 1973(昭和48)年6月 |
| 従業員数 | 65名 |
| 売上高 | 28億円[2023(令和5)年10月期] |
| 事業内容 | 住宅エクステリア商品の卸販売・施工、各種石材の化粧ブロック卸販売・施工、外構のガーデン設計・管理・施工、環境・パブリック資材の卸販売・施工 |
| URL | https://www.green1973.co.jp |



We color the city by exterior. 私たちの仕事は街を外観で彩ること

グリーン株式会社は、エクステリアの卸販売・施工を手がけるBtoB企業です。エクステリアは、街を顔とすれば、その顔に施す化粧のようなもの。We color the city by exterior. 私たちが街を外観で彩れば、街の表情を和風にも洋風にもさまざまに変化させられるのです。

当社が取り扱う商品は、戸建て住宅では門扉やカーポート、ブロック塀など、マンションや大型商業施設ではフェンスや通路の屋根など、公共施設では学校の校門や道路のガードレールなどと多岐にわたります。商品の幅広さは当社の強みであり、多様な住宅設備メーカーの製品の中から、その現場に最適なものを選んでご提案し、販売・工事を行っています。

この仕事のやりがいは、私たちが設置したエクステリアを、利用する方が喜んでくださること。感謝の言葉を直接いただけることもあり、うれしい瞬間です。

100年企業をめざし、働きやすい 環境づくりと人材育成に注力

1973(昭和48)年の設立以来、半世紀以上にわたって事業を展開してきた当社。次にめざしているのは、100年企業となることです。そのためには、ともに働く「人」の力が欠かせません。そこで当社では、従業員のだれもが働きやすい環境づくりと人材育成に注力しています。

まず、働きやすい環境づくりについてです。休みやすくする仕組みとして、各種休暇制度を整備しています。指定有給制度は、年間5日間、各自が休みたい日をあらかじめ指定して休暇を取る制度です。休日に思いっきり楽しんだりのんびり休息したりすることで、仕事も一生懸命取り組むことができると考えています。育児休業制度は、女性はもちろん、男性の取得も推進。結婚しても出産しても、仕事を辞めることなく長

く働き続けることができます。また、キャリアの希望や仕事の悩み、プライベートの相談などできる面談の機会も豊富です。新入社員は、入社後1カ月、3カ月、6カ月など定期的に面談を実施。その後も半年に1度は、社長と一対一で話せる機会があります。ほかにも、女性の営業担当は2人一組でお客さまを訪問するなど、安心して働ける環境が整えられています。

次に、人材育成についてです。入社後の新入社員研修は1年7カ月の長期にわたって実施され、商品知識や取り扱い方をじっくりと修得していきます。実務で役立つ業界知識や技術、業務にも影響する世界経済の流れなどを学ぶほか、現場で感じた疑問を解決する機会にもなっています。知識がどんどん身につくので成長を実感でき、自分に自信がつくと思います。また、社内に、わからないことを何回聞いても教えてもらえる環境があるのも当社の特長。質問しにくい雰囲気があると、新入社員はわからないことがあっても聞きにくく、わからないままにしまい、結局ミスにつながってしまいます。ですから、わからないことは、わかるまで聞ける環境づくりを大切にしています。

3つの直を大切に行動できる方と 一緒に仕事をしたい

私が当社の従業員に大切にしてほしいと考えているのは、3つの直「正直」「率直」「素直」です。その理由は、3つの直を大切に物事に取り組める人は、成長できるからです。たとえば、素直に周りの人のアドバイスを実行できれば、多くのことが身につきますし、そんなあなたを可愛がって、周りの人はさらに教えてくれたり助けたりすることでしょう。また、正直に謝ることはなかなか難しいことです。しかし、何か失敗があったときに謝れるのは、その仕事に責任を持っている証。仕事相手も、誠意をもって取り組むあなたを信用し、信頼関係が生まれ、次のお取引につながるのです。就職活動中のみなさんも、ぜひ3つの直を大切にいただければと思います。

